

ごみ減量体験講座「買い物ゲーム」

江別市

<取組の概要・特色>

江別市では、「ごみ」「リサイクル」などの身近な環境問題について興味を持ち、これらの問題解決のために、毎日の暮らしや買い物とのつながりを考え、その問題点を見出すことで、生活スタイルの意識変革を図ることを目的に、小学生高学年を対象とした出前授業を実施しています。

出前授業では、買い物シミュレーションゲームをとおして、ごみ減量の知恵を引き出す気づき学習を展開しています。

■平成 27 年度の実践例

運営は日本リサイクルネットワーク・えべつに委託し、27年度は市内の全小学校 18 校で 32 回実施し、922 名の児童が参加しました。

プログラムをとおして、実生活での環境配慮行動を楽しく学べるよう、次のとおり学習を展開しました。

<1 時限目>

子ども達はいくつかのグループに分かれ、カレーライスや飲み物を模擬店で購入します。

レジで清算し、お釣りの多いチームが勝ち！ところが・・・

ここで、容器、包装材など買い物から出るごみをグループごとにチェックしてもらい、それぞれの処理費用を計算します。

お釣りからさらにこれらのごみ処理費用を差し引き、残金の多いグループが本当の勝ちになります。



(模擬店での「買い物」のようす)

<2 時限目>

1 時限目の授業を踏まえ、ごみを少なくする方法について話し合い、さらにワークショップ形式で発表などを行い、ごみを減らす工夫の実行リストを作成します。

もう一度買い物ゲームにチャレンジしてもらい、今度は実行リストなどに沿って、ごみ減量を意識した買い物を呼びかけます。

それぞれのチームがごみ処理費をどれだけ減らせたかを比較するとともに、ごみ処理費も含めて、残金が多いチームを最終勝者とし、ごみの減量も意識した賢い買い物の実践を促します。



(チームごとに残金を計算して競う)

<推奨理由>

地元の環境活動団体と協働して、子ども達が楽しみながら日々の暮らしから出るごみを減らす工夫を考えることができる学習を、市内の多くの小学校で展開しています。

家庭ですぐに取り組める内容で、子供から大人への気づきも促すことで、家庭での環境配慮行動の実践につながっています。